

ニューヨーク育英学園のニュー  
ジャージーキャンパスでは、10  
月13日(日)に、毎年恒例のバ  
ザーが行われました。

今年はいよいよお天気に恵まれ、気  
持のいい秋晴れの中での開催と  
なりました。

開始前から来場者の長蛇の列が  
1ブロック先までできるほど、多  
くの人が訪れました。園舎内  
では、バザーに協賛する日系企業  
のブースや、雑貨コーナー、衣類  
コーナーの他にも、恒例の親子体  
力測定会も行われ、自慢の筋力を  
披露するお父さん、お母さんや子  
ども達の笑い声がこだましました。  
園舎裏庭にはフードコートが設  
置され、企業寄付の食品に加え、  
地域企業からのカレーライス、豚  
汁、菓子パン、学園保護者や職員  
によるコーヒー、綿菓子、ポップ  
コーンが店出し、こちらも多くの  
人で賑わいました。また、学園の  
全日制児童会主催の「育英っ子祭  
り」が企画され、くじ引きの出し  
物でバザーに花を添えました。

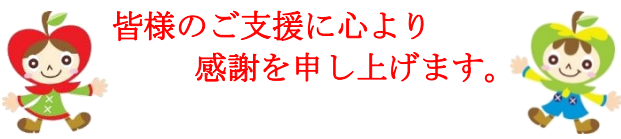
今年のアートコーナーでは、  
「ハロウィーンのマスクを作ろ  
う」が行われました。参加者の子  
ども達はグリッターや羽、ポスカ  
マーカーなどを使ってデコレーシ  
ョンして、秋の彩りに色を添えて  
いました。

大勢の保護者ボランティア、育  
英サタデーNJ校中学生・高校生  
のボランティアの協力を得て、会  
場は、最後まで熱気につつまれ、  
楽しいバザーとなりました。皆様  
のご協力をありがとうございました。

バザー収益金は学園施設充実お  
よび奨学金にあてられます。



お問い合わせ／ファンドレイジング担当：小嶋 絵美



## 奨学金基金&寄付金 企業・個人の皆様

ANDO CHIROPRACTIC, LLC.

ALICE CORPORATION  
NIPPON STEEL NORTH AMERICA, INC.  
Y'S PUBLISHING CO., INC.

A&E CLOTHING CORPORATION  
DR. KOBAYASHI, HISASHI  
LEMOINE DENTAL GROUP, LLC.  
MR. OKAMOTO, TORU & MS. OKAMOTO, RIEKO  
MR. SAKURAI, MOTOATSU & MS. SAKURAI, NOBUKO  
MS. SHIMAZAKI, RISA  
M.D. SHIMMYO, MITSUGU

ADVOCARE, LLC  
AMAZON.COM, INC.  
DAIWA CAPITAL MARKETS AMERICA INC.  
ISHITANI HEALTH CENTER  
KATSUKO SALON INC.  
KELLY'S AUTOMOTIVE SERVICE INC.  
KISO & TANAKA, LLP  
M.D. KUWAMA, YUICHIRO & M.D. KUWAMA, CHIKA  
NIPPON KAIJI KYOKAI  
MR. NOZAKI, TOSHIRO & MS. NOZAKI, KUMIKO  
MR. OKAMOTO, HIROHARU & MS. OKAMOTO, SHIGENO  
PARKSIDE DENTAL AND IMPLANT CENTER  
SCHEPISI & MCLAUGHLIN, P.A.  
SUMITOMO REAL ESTATE SALES (N.Y.), INC.  
ANONYMOUS

AMNET NEW YORK, INC.  
ANTAO & CHUANG ATTORNEYS AT LAW  
BERGEN PROTECTIVE SYSTEMS, INC.  
MS. MORI, KEIKO  
OVERSEAS JAPANESE FAMILY DENTAL, P.L.L.C.  
REALTY INTERNATIONAL INC.  
SUPER QUALITY OIL CO  
THE BOGLE AGENCY, INC.

## 品物 企業・個人の皆様

AKANE SALON  
ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD.  
ANDO CHIROPRACTIC, LLC.  
BROTHER INTERNATIONAL CORPORATION  
CAMELBACK RESORT  
CANON U.S.A., INC.  
DEL'S PEST ARREST INC.  
FIVE OR UNDER  
HOLIDAY INN HASBROCK HEIGHTS  
HOUSE FOODS AMERICA CORPORATION  
ISHITANI HEALTH CENTER  
ITO EN (NORTH AMERICA), INC.  
KIKU INTERIORS, INC.  
DR. KOBAYASHI, HISASHI  
KOKORO INTERNATIONAL  
LA RIPAILLE RESTAURANT  
MCDONALD'S / DAMIANO MANAGEMENT CORP.  
METROPAGES, INC.  
MY ROOM USA, INC.  
NEW YORK MUTUAL TRADING, INC.  
NHK COSMOMEDIA AMERICA, INC.  
NIPPON EXPRESS USA, INC.  
PEKING DUCK HOUSE  
SAEILO MOTORS  
SAKURA SHOJI, INC.  
SOJO SPA CLUB  
SYLVAN GRACE FLORIST  
TIC AKEAN GROUP  
TOLEDO RESTAURANT  
YAMASA CORPORATION USA  
Y'S PUBLISHING CO., INC.

## 出店企業の皆様

AMNET NEW YORK, INC.  
IACE TRAVEL  
KOSAKA'S KITCHEN, LLC.  
PARKSIDE DENTAL AND IMPLANT CENTER  
WILL NY INC.



① Here are our friends who were born this month!  
Everyone, let's celebrate!



② Let's say "Happy Birthday" to them.  
③ 1, 2, 3... ④ Happy Birthday!  
⑤ Thank you! ⑥ What?  
⑦ Whose voice is that?



⑧ I'm here! ⑨ Oh, yes! There is another birthday this  
month that we should not forget! ⑩ I can hear it from  
outside. ⑪ Wait a minute. This voice must be... ⑫ I'm  
happy to celebrate the same birth month with you!



⑬ It's our school!  
⑭ Happy Birthday, NY Ikuei Gakuen!  
⑮ Thank you for taking care of me! I love you all!

BY コマタキレコ (KIREKOKOMATA)

Copyright © Japanese Children's Society, Inc.



## 学園のこれから ～海外での人材育成～



「すごいですねえ。NY 育英の自由研究の作品  
は・・・。」と廊下に展示された作品群を見て  
来賓、訪問者からはずいぶん褒めの言葉を頂  
きます。本学園の子ども達は全日制部門、サタ  
デースクール部門、サンデースクール部門に限  
らずどの子も夏休みの自由研究には力が入りま  
す。作品の中には、マンハッタン校、ポートワ  
シントン校の作品も多くあります。廊下の壁面  
スペースが無くなるほどの作品、実験や研究の  
成果が貼りだされ、玄関横のギャラリーの全壁  
面にも展示品が並びます。特に頑張ったレベル  
の高い作品には、園長の顔イラストの「いいで  
すねシール」が貼られ目をひきます。彼らの中  
から将来、ノーベル賞(イグノーベル賞も含め  
?)受賞者が現れ、物理学、化学、生理学、  
医学、平和、文学といった各分野で世の中に真  
価を問う人物が多く排出されることを願ってい  
ます。吉野彰先生に続く受賞者が出て来るこ  
とを楽しみにしています。

又、学園は3年に一度のトリエンナーレ「自  
由の女神アート作文コンクール」を主催してい  
ます。今年がその年でもあり、来る3月にはト  
リエンナーレの表彰式と創立40周年の記念祝賀  
会の両方が予定されています。今回で4回目の  
「自由の女神アート作文コンクール」には、世  
界中の日本語を学ぶ子ども達からの作文と絵画  
が多く集まります。前回は700点の応募があり  
ました。毎回ニューヨーク日系人会で表彰式が  
行われ、作品が展示されます。アジア、ヨーロ  
ッパ、南北アメリカなどからの親子連れも集い  
あう楽しい会になることもあります。本学園の  
子ども達も出品しますので彼等にも良い経験に  
なります。子ども達の才能はこれらの発表の場  
を得てどんどん開花していきます。

学園にはこれらの機会以外にも発表の場は多  
くあります。11月の学園祭の劇の発表会では各  
学年が大きな屏風を制作します。4×6ftのパネ  
ル6枚から8枚の大画面一杯に各クラスの劇の  
背景画を太い筆とテンペラ絵具で力強くダイナ  
ミックに描きます。毎年、小学生の見事な力作  
が揃います。子ども達が純粋な心で無心に描く  
ので見る側が清々しい気持ちにさせられます。

日本国内の学会は最近少しずつ簡略化されて  
いると聞きます。あまり台詞をもらえぬ子もい  
るようですが、ここでは幾つもの役をこなして  
出番が多いので、自然に度胸がつきます。凝っ  
たコスチュームを揃えたミュージカル仕立ての  
出し物も多くあり、とても幼児部と小学部の発  
表会とは思えません。英語劇やコーラス、そし  
て司会者としても登場しますので、どの子もブ  
レゼンテーションの達人となっています。こ  
れこそが初代園長丹羽美代子先生と話してい  
た、そして求めていたものでした。残念ながら  
35年前、学園創立5年目で他界された美代子先  
生。先生にもお見せしようと毎回、遺影をステ  
ージが見える所に設置し、同席してもらってい  
ます。

時代は変われども学園の基本方針、幼児部の  
「明るく素直でのびのびとした子の育成」、小  
学部の「のびのびと学び自ら鍛える子の育成」  
の精神がこれからもこの学園に脈々と受け継い  
で行かれるように努めます。そして美代子先生  
の方針、「時代と地域のニーズに合った学園運  
営」を行ってまいります。

さて、10月現在日本では、ラグビーワールド  
カップ(W杯)が開かれ熱戦が続いています。  
日本チームの大活躍に日本中が興奮していま  
す。その中で今大会での目立った変化としては  
各国チームが日本式のお辞儀をして観客に感謝  
の気持ちを伝え始めたことがあります。日本人  
の観客がどの国のチームにも思いやりの拍手声  
援を送っていることが選手達にそのような変化  
を自然に作っているといわれています。「おも  
てなしの心」が言われる昨今です。ウェールズ  
の選手への応援で、日本人の観客が赤いウェ  
ールズのユニフォームを着て、ウェールズ国家  
を合唱した事が彼らの本国でも称賛されていま  
す。ニュージーランドのチームには日本人の子  
どもチームが黒のユニフォームを着てマオリ族  
のハカを踊り、歓迎したこともニュージーラン  
ド選手団を喜ばせていました。

どちらの話も、「心の交流」という最高の  
「おもてなし」になっています。試合以後スタ  
ンドの掃除をする日本人を見習って色々な国の  
観客も掃除するようになってきたと日本の精神  
が広まっています。来年のオリンピックでも日  
本の各地の学校が参加国各国の応援を引き受  
け、心の底より歓迎応援をすると聞き「日本も  
なかなかやるなあ」と感じします。世界から尊  
敬される日本人になりたいものです。私たちの  
学園園児・児童にも心を込めての交流の在り方  
を教えていかねばなりません。マンハッタン  
の姉妹校グレースチャーチスクールやスペイン  
のトマレス少女合唱団との交流以外にもNJ・NY  
の地元の方々との地道な交流も考えていこうと

います。  
この地に生きる私たちの子ども達は多言語社  
会の中でバイリンガルになっていきます。NY・  
NJの多文化圏に生きながらコスモポリタンとし  
て成長しています。日本国内の子ども達にだん  
だん覇気がなくなっていると言われていた昨  
今、頼みの綱は海外子女です。将来の大人物が  
毎年この地に育っています。幼・小期すでに世  
界の中心に生きていた私たちの園児・児童が大  
人になって日本の、そして世界のリーダーにな  
っていきます。NY 育英はいつまでもこの土地で  
彼らを見守り、応援していきます。人材育成に  
は海外のこの地が一番適していると思います。

先日日本から元園児の  
W君がNYCの大学院を修了。  
これからカリフォルニアに  
行き認知科学の研究をする  
博士になるとのこと。2学  
期の初旬、学園を13年振りに訪ねてきました。  
又、23年前帰国したK君はハーバードのLaw  
Schoolで学んでいるとのこと。その内、彼  
も日本の法曹界の第一人者になると思われま  
す。これからも懐かしい訪問者があればあつ  
という間に玄関でミニ同窓会が開かれる、そんな  
NY 育英学園でいられればうれしい限りです。こ  
れからも地域の人たちのセンター、皆さんの母  
校、そして母港であり続けようと思います。

ニューヨーク育英学園学園長



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ～今号の目次～<br>P.1 学園長よりご挨拶<br><br><b>全日制部門より</b><br>P.2 NJキャンパス全日制部門からのお知らせ<br>P.3 NJキャンパス全日制英語科からのお知らせ<br>P.4 フレンドシップアカデミーよりお知らせ<br><br>P.5 PW校よりお知らせ<br>秋の特別活動報告<br><br>P.6 2020年度NY育英学園全部門募集要項・登録要項発表!<br>P.7 シリーズ「教育座談会」特別編<br>P.8-9 JCSのご案内<br>2019年度スキーのお知らせ<br><br><b>育英サマー各部門より報告</b><br>P.10 NJサマーディキャンプ・レイクグリーリー宿泊キャンプの報告<br>P.11 第7回アメリカキッズ・留学<br>～東北・九州被災地支援招待企画2019～報告<br><br>P.12 りんご園センターサマー報告<br>フレンドシップアカデミーサマー報告<br>P.13 NY育英学園夏休み自由研究作品合同展示会報告<br>P.14 シリーズ「保育教育トピックス」⑤<br>P.15 シリーズ「先輩から一言」<br>シリーズNY育英学園職員ベシリレー<br>P.16 NY育英学園ファンドレイジング&育英バザー報告<br>4コマ漫画(作:コマタキレコ) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

# “みんなが主役 友達の絆” N Y 育英運動会 ～NJ キャンパス全日制部門～

教育の目的には、「生きる力」の獲得があります。社会に出た時に向き合わなければいけない困難を乗り越えていくには、“たくましさ”と“柔軟性”が必要です。教育には、その力を得るための負荷を与えるねらいの取り組みが意図的に組み込まれており、行事もそのひとつとなっています。ニューヨーク育英学園N J キャンパス全日制部門では、「自ら経験し、考えることによって主体性を育てる」ことを基本方針としており、保育教育活動の軸としています。「柔軟な思考力の発達」、「他者とのかわり」、「体力向上と社会生活の基礎を培う」という本学園教育目標の大きな要素が運動会の取り組みには含まれており、主たる学校行事として運動会を実施しています。

## 全日制部門運動会の重点

運動会は体育的行事であり、幼児部と小学部が共通の願いを持って系統立てて指導がされています。

- 勝敗を競う。
- 集団行動を身につける。
- 上級学年の園児児童が会の運営に関わる。
- 地域や家庭に広く公開する行事である。

普段の保育授業ではなかなか補えられないこれらの観点で活動を意図的に展開しています。

### ①勝つために全力を尽くす

「集団で勝敗を競う体育的行事」ですから、ぜひ勝敗にこだわってほしいと思います。さらには、勝敗から得られる向上心、正しい態度を身につけられるように指導に当たります。

運動会でも、是非、他色には絶対に勝つ、という強い気持ちがほしいと考えます。その気持ちがあるからこそ、全力で走り、力を出し切ることができます。練習にも真剣に取り組むことができます。徒競走でたとえ1位になれなくても、順位を一つでも上げれば、1点分が自分の組に加算され、組の勝利に貢献できます。そのことにこだわらせたいと願い、その頑張りを称賛しています。

また、勝敗がついても、それぞれ勝利を目指して一生懸命に頑張ったことは同じです。「勝って驕らず、負けて腐らず」という言葉があるように、お互いの健闘を讃え合う気持ちが大切であることを教えていきます。



### ②練習を通して集団行動を徹底する

教育活動において、園児児童が秩序正しい行動や安全で効率のよい行動をとるように指導することは、仲間との関わりを深めることや緊急時の対応のためにも極めて重要なことです。

練習では、グラウンドが教室のような空間となります。当然、仕切りもなく、子ども達の気持ちは開放的になりがちです。また、運動会練習は、全園児児童、学級もしくは小集団による活動が各種の運動を通じて展開され

ます。こうした運動会練習の学習環境の中でこそ、学習活動の効率向上や安全確保のため、重点的に集団行動を身に付ける必要性があります。また、クラスがまとまり、体力格差も男女の差もなく、みんなのできるのが集団行動の最大のメリットです。心がまとまることで、集団も一つになり、学級経営にも役立ちます。運動会は、練習から本番まで集団行動が伴います。集団行動を身に付ける絶好の機会ととらえ、指導を徹底しています。

### ③高学年が運動会を運営していくことに誇りをもたせる

全日制小学部では、サタデースクールと合同で運動会を実施しています。応援合戦や運動会の係の仕事などを、初めて出会う友達や異年齢の集団で活動することで、協調性や我慢、思いやりの気持ちが育まれます。

子どもは、集団の中で自分の役割を自覚



し、責任をもってやり遂げようとする過程で大きく成長していくものです。単に与えられた仕事を無事にこなせたかどうかだけではなく、子どもの内面の変化を大切にします。

他者との関わりでは、自分の思い通りにならないことがたくさん出ます。これは、ピンチではなく、肯定感を高めるチャンスです。周りや協調するために、勇気を出して「折り合い点」を見つける「生きる力（“たくましさ”と“柔軟性”）」が身につくチャンスだと捉えます。コミュニケーション力は、自分も相手も大切に「折り合い点」を見つける力であり、それには、「聞く力」、「伝える力」、「我慢する力」、「推し量る力」などを鍛えることが求められます。大人が代わりに解決したり、解決方法を教えたりするのではなく、思いを受け止めながら、解決策と一緒に考えていきます。高学年の園児児童は、競技をしながら運動会の運営に関わりま

### ④N Y 育英学園の『よさ』を発信する

運動会は、最大の「学園公開」の行事です。日頃、お便りやホームページなどで学園の様子を伝えるだけでなく、オープンハウスとして実際に子ども達の姿を通して、学園の魅力を発信しています。

## 幼児部

日々楽しく遊びを積み重ねることを大切にしています。その中で、①体を動かすことが



大好き、②友達と一緒に全力で頑張る、③難しくても最後まであきらめないという姿を育んでいきたいと考えています。全力で挑戦し、時には泣き、時には悔しがりながらも、涙と笑顔を重ねて練習します。

練習を通して友達が全力で頑張る姿を見ることが、少しずつクラスが『チーム』になってきます。また、年長園児が年少組・年中組種目の補助をするなどの運営の一端も担います。まさに全員で作り上げる運動会。子ども達は友達との絆を強く感じるようになります。そのことが、運動会を大成功へと導くのだと思います。最後まで子ども達のやりきる精一杯の姿を、教師は見届けて大いに褒めていきます。練習してきた力をすべて発揮できるように、子ども、教師、そして保護者が『チーム』となって運動会に臨んでいます。



## 小学部

運動会の目的を、①運動に親しむ態度を育てる、②基本的な集団行動を習得させる、③責任感や連帯感を育てるとしています。特に、仲間と力を合わせ、協力して一つのことを成し遂げていく力を育てていきたいと考えています。

その大きな目的を達成する象徴的な種目が応援合戦です。赤組と白組に分かれて応援団を構成します。応援歌、エール、ダンスをすべて自分たちで考えます。応援合戦の構成は6年生が中心となり、応援ダンスの選曲から振り付け、低学年の指導まで、高学年の児童が主体的に行います。上級生から声の出し方やダンスを習い、毎日一生懸命練習を重ねます。他学年の児童とも関わりを持つ中で、運動会までにたくさんの友達を作ることができます。運動会当日は、それぞれの児童が練習の成果を発揮するために一生懸命声を出したり、踊ったりします。応援合戦が終わったあとはみんなが努力を称え合い、達成感あふれる子どもたちの表情が見られます。練習を通して、下級生の子ども達は、高学年の応援団団長の姿に憧れる気持ちも芽生えます。憧れや尊敬の念を抱き、そこに近づくための努力をします。きっかけとなっています。「運動会を通して、たくましくなりました。みんなと協力して、上手に年下の子をまとめている姿に、驚きました。」と保護者からの声も聞かれます。



## チームNY育英

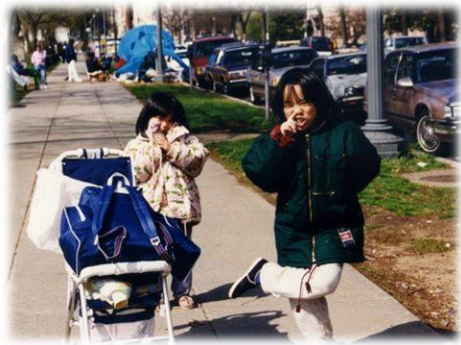
園児児童は、一生懸命に全力で競技・演技します。そして、運動会の主体者となって作り上げ、友達や保護者との連帯感を深めることを重視しています。そして、運動会での体験を、今後の生活の中で生かすことができるようにしています。

# シリーズ～先輩から一言～ 起業家 堀川 隆弘 さん

## 二度の在米経験を経て起業、私を形作るアメリカの空気

私は日本の幼稚園を卒業後、父親の転勤に伴いNJに移住しました。NY 育英学園には、「よい子の学園」という名前だった 1986 年から 1990 年まで在学していました。当時小学部ができてから、私たちが最初の代の児童、ということになります。

もう 30 年前ということで、在学中の記憶は断片的にしかないので、とにかく仲良く、自由だったことを覚えています。私の記憶の中で、友達たちとあんなにグラウンドを駆け回った記憶はあの頃しかありません。日本人のコミュニティでありながら、おおらかで明るいアメリカの雰囲気を合わせ持つあの場所は、過去を振り返っても唯一無二のものだったと実感します。



「三つ子の魂百まで」と言いますが、今の自分があるのは、3歳の頃に過ごしたこのアメリカでの経験が大きく影響していると考えてなりません。NY州シラキュース大学の修士課程に留学した父の元に、母と姉と移り住んだ私にとってのアメリカは、何もかもが広大で、いろんなものが光り輝いて見えました。姉と二人きりで団地の家庭のドアを叩いて巡った初めてのハロウィーン。一晩で1メートルを超す雪が降った翌日に母と姉と一緒に作ったかまくら。空は晴れているのに水しぶきが降ってくるナイアガラの滝。Nursery School で作ったバスターアトラ。記憶に鮮明に残る目新しい世界に毎日のように触れた私は、日本に帰ってから好奇心が旺盛で、すぐに「なぜ、どうして」と質問をする、大人にはちょっと厄介な少女に育っていきま

した。ただ、英語で口喧嘩をしていた私たち姉妹も、すぐに英語を忘れていったようです。両親は私たちを英会話教室に通わせたり、英語のテレビ番組を見せたりしていましたが、それが実際に英語力をつけることに役立ったというよりは、常に英語に親しむ環境を作ってもらい、英語により印象を持って育つことに役立ったように思います。

その後、小学校では特に英語の学習を家庭ですることはありませんでしたが、父が時折家庭に招待した外国人客にいつも積極的に話しかけ、身振り手振りを交えてのコミュニケーションを楽しみました。幸い小さいころから英語耳を鍛えてあったので、中学に入ってから、英語は得意な科目になりました。高2の時は、A

社会人になり何年か経って、私にはもう一度アメリカに住む機会がありました。当時ソフトウェアのエンジニアとしてキャリアを積んでいた私は、いつか世界を舞台にして働きたい、特にシリコンバレーという世界でも最高峰の会社や人材が集まる場所で働きたい、と思っていました。様々なチャレンジの末に、思わぬ幸運も重なり、現地の会社から転職のオファーをもらうことができたのです。

その後約2年半、周りに日本人がほとんどいないような環境で働きました。アメリカと日本と文化の違い、良いところ悪いところ、小学校当時はまったく気づかなかったことに気付かされました。アメリカ、特に西海岸の方が顕著かもしれませんが、良くも悪くもおおらかで、多様な価値観が許容されている点は、日本に帰国してからも大事にしたい価値観になりました。

アメリカに比べて、日本が良いなと思っているところは、日本（特に東京）にいと成功に対する焦燥感が刺激されることです。アメリカだとどんな生き方でもまあ許されるかなとのんびりしてしまうところを、東京にいとそんな余裕はなく、どんな道を選ぶにせよ、成功しなければというプレッシャーを与えられているような気分になります。人によってはと思いますが、私はそういったプレッシャーも好きです。

F S のホストファミリーとして1年間アメリカから留学生を受け入れました。その留学生とは同じ高校に通いながら毎晩いろんな話をして、洋楽や他の国々への興味も広がっていました。彼女とは姉妹のように仲良くなり、「また留学するから、I C U（国際基督教大学）で会おう」と約束し、その約束は現実のものとなりました。

ただ、初めて一人暮らしをした大学生活はバラ色と言えるものではありませんでした。人間関係や家族関係にも悩み、国連で世界の子どものために働きたいという目標が足元から揺らぎ始めました。母校の高校で英語の教育実習をするも、教師になるのであれば、もっと世の中を自分の目で見てからでないとだめだという思いにかられ、就職活動をしました。何をすればいいのかわからず途方に暮れました。周りの友達はほとんどが金融関係か大学院と出世コースを選ぶ中で、自分は一旦敷かれた線路から脱線したい気持ちでした。留学も考えましたが、行くのであれば親のお金ではなく、社会人になって自分でお金を稼いでから行こうと、リクルートに就職した私は、就職情報誌の誌面を売る仕事につきました。2年後には退職し、出版社のP H P 研究所で『THE 2 1』というビジネスマガジンや『歴史街道』という歴史雑誌の編集に携わりました。

世の中を縦横に見て、そろそろ教育の世界に戻りたくなった私は、その後大学進学塾の有名英語講師が運営する個人事務所で、約

ープロフィールー  
東京大学 理学部数学科卒業。  
Yahoo シリコンバレー本社等でソフトウェアエンジニアとして勤務後、curiosity 株式会社を創業。



私は今東京でcuriosityという会社を営んでいます。それまでずっとソフトウェアエンジニアという職業でやってきましたが、今度は未来に向けた新しいテクノロジーを使ったエンターテインメントを作るという、より大きなビジョンを掲げて様々なチャレンジをしています。ずっと好きだったことをやってきたので、今も仕事と趣味の境目がありません。好きだったことを貫いてやってこれること自体が、当時生活したアメリカの生活感が影響しているかもしれません。いつか私たちの作ったエンターテインメントを持って、アメリカに凱旋できたらいいなと思っています。

職業人インタビュー

10 年間、ビデオやインターネットを使った大学入試受験教材の開発のほか、英和辞書、学習書籍の編集や、大学生チューターの管理をする仕事に就きました。

その後、受験英語に限界を感じたこともあり、もっと生きた英語を使った仕事をしようと、Ask.com という検索エンジンの日本版立ち上げに加わり、2006 年には日本から駐在員としてついに憧れの地アメリカに引っ越してきました。アメリカに来てからは、週末に日本人学校で現地の子に日本語を教える教師としても働くようになった私は、教師としての人生にやりがいを見出すようになりました。幸いにもNY 育英学園の全日制英語科のコーディネーターとして採用していただき、その後金曜英語の日の導入にも携わり、2014 年度まで7 年間英語科の主任を務めさせていただきました。

2015 年度からはりんごラーニングセンター語学部門マネジャーとして英語・日本語の各種講座を管理運営するほか、プライベートレッスンも担当しています。

こんな私の原点は、やはりアメリカに住んでいた3歳の時。語学は実際の生活の中で身につけていくものなので、今の子どもたちにもこの広いアメリカの大地で、いろんな経験をして欲しいと思う今日この頃です。



この8月1日から31日の1か月間、ニューヨーク育英学園の皆様のご協力をいただき、フィールドワークを中心に個人研究をさせていただきました。国立学校法人宇都宮大学教育学部の石川由美子と申します。2020年の4月から再び育英学園の皆様とフィールドワークをさせていただく予定であります。本紙面を借りて、これまで私自身が専門としてきた発達心理学という学問領域およびこれまで進めてきた研究から子どもの発達という事柄についてお話ができたと思います。アメリカと日本という時空の隔りを超えて、皆様と共に「なるほど、そうかもしれない」「そうかしら？」といった共感の場がここに開かれたなら嬉しいなと、思っております。

これまで私は特別なニーズを要する子どもたちや定型発達児（発達自体に問題はない）と称されるお子さんを対象に発達心理学的観点から子どもの認知発達を考えることを主な専門領域としてきました。その中でも特に興味深かったのは、特別なニーズを要する子どもたちにとっての言語発達でした。乳幼児がいつのまにか獲得してしまう言語は、特別なニーズを要する子どもたちにとってはハードルの高い障となつて立ちはだかる場合がほとんどです。なぜそういう状況にたち至るのか？ そのなぜを紐解くことができれば特別なニーズを要する子どもたちの発達をもっとスムーズに促すことができるのではないかと。さらに定型発達と言われている子どもたちの発達促進ともなりうるのではないかと。そのような穿った考えに偏重し研究に邁進していた時期も長くあったように思います。

ともあれ押しなべて大人は子どもの発達を願わずにはいられない存在なのでしょうね。私達は簡単に発達という言葉を使ってしまうがちです。しかし、発達ってどうして生じるのかを考えるとそう簡単に答えられるものでもない。このことに大人が気づくこと、これがまずは重要な気がしています。

発達という言葉を生しく捉えるにあたって知っておかなければならない観点をここで紹介しておきます。このことをしっかりと考えておかないと、親である大人も教育者である大人も、子どもが自分自身で育つ力を身の内から湧き出そうとしているまさにその瞬間に、気づかず良かれと思って押さえ込んでしまうことを繰り返すことになりかねません。

ねえ、先生、クワガタとカブトムシはどっちが強いの？

たろうくん、今はそういうお話の時間ではないでしょう。先生のお話をちゃんと聞いてくださいな。

上述した会話のように、クラスの中でも家庭でも、子どもは大人が意図し期待している行動や発言とは異なる反応で大人を戸惑わせることが多くあるのではないのでしょうか。このような状況において大人は、多くの場合、子どものその行動を制してしまいます。制してしまうのはなぜか？おそらく子ども自身の発言そのものよりも、大人が準備した状況（環境）の中で、大人が子どもの発達あるいは教育によいと判断しているあらかじめ子どもに期待している行動を当てはめてしまうからではないのでしょうか。このことは教育の中では当然のことかもしれません。しかしこの当然を立ち止まり考えてみるのが、子どもが育つ環境には重要かもしれません。

子どもの発達は、学習を積み重ねた結果として生じるものではないでしょうか。学校という場はそこに偏重してしまいがちとなる大人の行動を強化する傾向が強い場です。少なくともその点について大人が意識する必要があることを発達心理学という学問は我々に問いかけます。アメリカでも日本でも、学習の結果としての発達を促す方法論やツールが学校の現場では多く存在しています。ABAを主体する指導法やプログラム学習法、TEACCHプログラムなどは、そういういった学習教授法の代表といえるのではないかと思います。しかし、発達の理論においては、いくら早期に学習させても子どもの成熟が準備されていなければ学習は結果としても生じない。これは周知の事実です。赤ちゃんに50音を教えようとしても徒労に終わるだけでしょう。だからだれもそんなことはしませんね。赤ちゃんに向かい合う時、赤ちゃんが泣いたり、笑ったりするその行為そのものに大人は懸命に対応します。この今、その子ができる行動の全てを受け入れることから大人は子どもの育ちを促します。

石川由美子  
ープロフィールー  
宇都宮大学教育学部准教授、臨床発達心理士、筑波大学大学院博士課程心身障害学専攻単位取得退学、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」による海外研究派遣

それでは先ほどのたろうくんの発言、「ねえ、先生、クワガタとカブトムシはどっちが強いの？」はどうでしょうか？この今、たろうくんが一番に大人に答えてほしい事柄だったのではないのでしょうか？

子どもの学習の成果は、教えたらし身につく、残念ながらそう単純では無いのです。そこには必ず、それを知りたい学びたいという強い子どもの情動（動機）が動く必要があるのです。従って、子どもの発達を考えるのであれば、子どもの知りたい学びたいという強い好奇心と情動を動かすことが先ずは重要となります。教育が難しいのは、この観点を抜きに出来るだけ早く学習の結果である成果を発達として子どもに重ねてしまうことではないのでしょうか。

子ども情動（動機）は、子どもの遊び心から生じます。Playful な子どもの心象に共感できる大人の遊び心、教育する場にもPlayful な大人の存在の重要性が最近少しずつですが認められてきています。その重要性を最初に示したのがVygotskyというロシアの発達心理学者でした。発達の最近説領域（ZPD）と呼ばれるその概念は、おそらく、発達は学習の結果としてではなく、成熟した結果としてでもなく、人と人とがPlayfulな関係を共に生きたかたちとして生まれてくるものであることを示しています。

私自身は、このPlayfulな関係と子どもの育ちを、絵本と遊びという心理的道具を介した研究で行っております。また次の機会にそのことについてみなさんと対話できる場が開かれることを楽しみにしております。



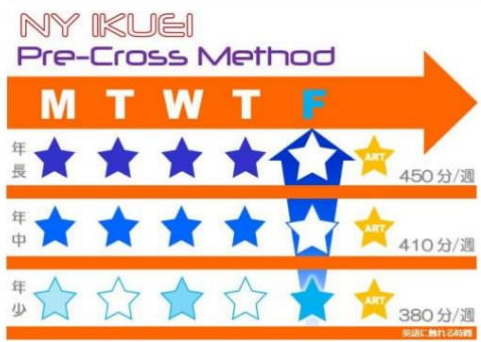
## NJキャンパス全日制の英語教育 幼児部の毎日の英語

NY育英プリクロスメソッド 3年目を迎えて

NY育英新プリクロスメソッド

英語を生活の一部に

毎日の英語の成果



NY育英学園全日制幼児部では、開設当時より、子ども達が人格形成や親との絆を作るのに大切な幼少期に、日本語を母語として定着させることを第一目標としてきました。

同時にアメリカ当地にある日本人学校として、地の利を生かし、ネイティブ英語講師による英語学習の時間を設け、英語や異文化に慣れ親しむ環境作りも大切にしてきました。

近年は、母語教育を中心しつつも、より積極的に早期のバイリンガル教育を取り入れるようになり、英語に触れる時間を段階的に増やし、2017年度からは、幼児部にも毎日の英語を導入し、「新プリクロスメソッド」と名付けました。

### 幼児部英語1週間の基本スケジュール

#### 【英語講師による朝の英語レッスン】

年長：月～木 30分×4＝120分  
年中：月～木 20分×4＝80分  
年少：1学期 20分×1＝20分（水）  
2学期 20分×2＝40分（水木）  
3学期 20分×3＝60分（火水木）

#### 【英語講師との朝の自由遊びの時間】

年少：1学期 40分×3＝120分（月火木）  
2学期 40分×2＝80分（月火）  
3学期 40分×1＝40分（月）

#### 【英語講師との自由遊び＆ランチの時間】

年長：月～木 60分×4＝240分  
年中：月～木 60分×4＝240分  
年少：月～水 60分×3＝180分

#### 【金曜バイリンガルの時間】

年長：90分×1＝90分  
年中：90分×1＝90分  
年少：60分×1＝60分

#### 【金曜英語アートの日（月1回）】\*

年長・年中・年少 英語アート 各30分  
年中：ランチ＆自由遊び 60分

#### 【1週間で英語に触れる時間の合計】

年長：450分  
年中：410分  
年少：380～340分  
\*金曜英語アートの日を除く

バイリンガル教育で大切なのは、普段の生活の中に、いかに一貫性を持って無理なく英語を組み込むかです。英語が生活の一部になれば、英語を学ぶ意味やその楽しさを頭だけでなく、身体全体で理解できるようになります。NY育英学園では、まず子ども達が安心して母語の日本語での生活を送れるようにし心の安定を図った上で、子ども達に無理なく英語をも学べるようなカリキュラムを組んでいます。すなわち、毎日一貫性を持って、**日本語7：日本語＋英語2：英語1**の割合で日々の活動を行っています。



### 金曜バイリンガルの時間

幼児部のカリキュラムを「プリクロスメソッド」と名付けたのは、2011年度に取り入れた小学部の英語カリキュラムを「NY育英クロスメソッド」と名付けたことに端を発します。小学部の「NY育英クロスメソッド」は、月曜から木曜までは毎日1コマ、英語の基礎力をつける学習をし、金曜日はその応用として、丸一日6コマを現地校のように英語で学習するといった、基礎と応用のクロストレーニングを特徴とする、本学園独自のバイリンガル教育メソッドです。

幼児部の「プリクロスメソッド」はこの小学部のクロスメソッドの橋渡しとなる役目を果たしており、月一木の毎日の英語のほか、金曜日に「バイリンガルの時間」を設け、普段日本語で行っている朝の会や帰りの会を英語講師がリードして英語で行うほか、絵本の読み聞かせをしたり、様々な日本語での活動に英語講師が英語でサポートします。

また、金曜日には月一回の英語アートの時間があり、英語での指示を聞きながらアートやクラフトをする応用学習を行っています。



幼児部に毎日の英語を導入してから3年目を迎え、私達も胸を張ってその効果が表れ始めてきたと言えるようになりました。子ども達の英語に対する姿勢は、週に1、2回しか英語の時間がなかった時に比べ、格段に積極的なものになってきています。

子ども達の変化は、まずは英語の時間の子ども達の生き生きとした表情に見て取ることができます。またクラス以外の時間でも、学園内で子ども達が進んでアメリカ人の先生たちに挨拶をするだけでなく、学園の外でも自宅のアパートのエレベーターなどで英語で話しかけられた時に、アメリカに来た当初のように保護者の後ろに隠れてしまうのではなく、挨拶ができるようになった、という話や、公園で初めて会う子ども達に英語で話しかけるようになったなど、嬉しい報告が増えてきています。また、ハロウィーンパーティーでは、子ども達全員が自分たちのコスチュームの紹介を英語ですることができました。



### 小学部の英語力の躍進

幼児部で毎日英語を学習するようになった子ども達が小学部に進級するようになって2年が経ち、その効果は小学部の英語の時間でも見られるようになりました。

まずは、一期生が小学部の一年生に進級した2018年。過去の一年生と比べて、英語のクラスでも臆することなく、より積極的に発言し参加するようになった子どもたちの様子に、小学部の英語講師陣は目を見張りました。アルファベットやフォニックスの基礎知識もすでに備わっていて、語彙数も格段に増えていました。幼児部の毎日の英語が小学部の英語教育の活性化につながっているのは、間違いないようです。



# フレンズアカデミー・5周年目を迎えて

フレンズアカデミー園舎はマンハッタン  
 アッパーウエストで地下鉄1番線103丁  
 目駅から徒歩数分の閑静な住宅街に位置し  
 ています。天井が高く明るい園舎内には、  
 月毎にスタッフ手作りによるデコレーショ  
 ンが施され、季節ごとの味わいを実感・体  
 感できる様に工夫が施されています。



園舎隣には広大な敷地のリバーサイドパ  
 ークがあり、天気の良い日は元気に外遊び  
 に出かけます。ハドソン川沿いにあるリバ  
 ーサイドパークは自然豊かで四季折々の美  
 しさを楽しむことができます。4月は桜、  
 5月は若葉、6月は紫陽花、10月は紅  
 葉、11月は落葉、冬場は辺り一面の雪景  
 色などです。

次にフレンズアカデミーで開催している  
 クラスについて紹介いたします。週日（月  
 曜日～金曜日）は全日制たんぽぽ幼稚園  
 （パートタイムプログラムを含む）、親子  
 教室、幼児教室、放課後のアフタークラス  
 として、日本語基礎教室（幼児対象）、国  
 語算数教室・国語教室（小学部対象）、そ  
 の他、うんどうクラブ、書道教室、音楽教  
 室、全ての受検級に対応した英検対策講座  
 等があります。それらに加えて土曜日、日  
 曜日のウィークエンドスクール（幼児部・  
 小学部併せて総勢130名が在籍）を週末  
 に展開しています。

この他、専門の講師を招いての書道ワー  
 クショップ（オリジナルのTシャツやカレ  
 ンダー作り）、子育て支援講座の一環とし  
 てニューヨークで子育て中の保護者を対象  
 とした子育て支援広場「ぽっぽ」などマン  
 ハッタン界限の日本文化の発信地としての  
 活動を数多く実施しております。



## — 新園舎移転5周年を迎えて —

フレンズアカデミーは日本人コミュニ  
 ティー、地域、社会に支えられ、この201  
 9年4月で新園舎移転5周年を迎えること  
 ができました。

紆余曲折の5年間ではありましたが、特  
 に大きなけがや事故等はなく無事に今日の  
 日を迎えています。

そんな中、私たちの何よりのエネルギー  
 の源は子ども達の「笑顔」でした。保育  
 中、園舎の中は静まり返ることはなく、常  
 に子ども達の笑い声が響き渡っていました。  
 このことは教育に携わる私たちにとっ  
 てこの上ない幸せなことであります。

また、この間、たくさんの方々によるご  
 支援・ご協力を賜りました。この紙面を借  
 りて改めてお礼を申し上げたいと思いま  
 す。今後も更なる社会貢献を目指して、ス  
 タッフ一同、力を合わせて様々な活動に取  
 り組んでいきたいと考えております。引き  
 続き温かいご支援の程を宜しくお願い致し  
 ます。



## — 今後の未来像 —

ニューヨークは言葉の通り、人種の坩堝  
 であり、様々な言語・文化・思想が混在し  
 ています。教育現場においても今後、益々  
 多様性が求められてくると考えています。  
 そうした中、地域のコミュニティと融合  
 を図る中で、現地の人々や様々な国からや  
 ってきた人々に日本文化を発信する場とし  
 ての役割も担っていきたいと思います。  
 「日本人とアメリカや様々な国の人々との  
 文化の架け橋になる。」そんな理想を持っ  
 て日々、活動を続けています。



## —全日制たんぽぽ幼稚園の保育の特徴—

全日制たんぽぽ幼稚園では、アメリカの  
 幼児教育カリキュラム、ティーチングユニ  
 ット、アカデミックなトピックスを取り入  
 れながら日本語で活動を実践しています。  
 そして、遊びを通す中で、より学問的な内  
 容が保育の中で学べるようにカリキュラム  
 を組んでいます。



## —きめ細やかな進学相談・指導—

当園では、様々なバックグラウンドを持  
 つ園児保護者に便宜を図るため、日米の教  
 育に精通した教師による細やかな個別の進  
 学相談を適宜実施しております。また、オ  
 ープンハウスの際には進学説明会を実施  
 し、在籍園児のみならず学外者の方も参加  
 し、活発な情報共有が行われています。

- 以下が前回行われた進学相談会の主な内  
 容（抜粋）となります。
- ①現地公立学校と私立学校との制度の違い
  - ②私立学校入試へのスケジュール
  - ③ISAAGNY（統一試験へ向けての対策）
  - ④ファイナンシャルエイド（学費支援）
  - ⑤日本帰国へ向けての準備
  - ⑥日本の公立学校と私立学校の違い
  - ⑦質疑応答



↑2019年6月11日に行われた進学  
 相談会の様子。活発な情報共有・交換が行  
 われました。

最後になりますが、今後もフレンズアカ  
 デミーがマンハッタン地区全体の日本人コ  
 ミュニティーの中心となっていられるよ  
 う、スタッフ一丸となって、尽力して参り  
 たい次第であります。

お問い合わせ／フレンズアカデミーディレクター：河野 茂

# NY 育英学園主催コンクール・展示会

2019年度 第6回 NY 育英学園夏休み自由研究合同展示会



今年で第6回目となる「ニューヨーク育英  
 学園夏休み自由研究合同展示会」。NY 育英学  
 園の様々な部門において、小学生以上の児童  
 生徒が夏休みの間に知恵を絞り工夫を凝らし  
 た自由研究を合同展示したい、という思いか  
 ら始まった催しです。

夏休み明けに子ども達から提出された自由  
 研究は、まず各部での発表会や展示となりま  
 す。ニュージャージーキャンパスでは、全日  
 制小学部の発表会を皮切りにサタデースク  
 ールニュージャージー校の発表などがあり、サ  
 ンデースクールの作品も含めてすべてが展示

## ～NY 育英学園夏休み自由研究合同展示会選定委員会による「いいですね！」作品一覧～

| 学年            | 児童生徒氏名        | 作品名                                      |
|---------------|---------------|------------------------------------------|
| 全日制（ニュージャージー） |               |                                          |
| 小1            | 平 航成          | 「NY のちかてつ」                               |
| 小1            | 丹羽 葵          | 「はたおりきでぬのづくり」                            |
| 小1            | 増村 美羽         | 「クレヨンだいへんしん」                             |
| 小2            | 二文字屋 暁        | 「コップの中に「にじ色のタワー」ができたよ！」                  |
| 小2            | 星野 遼          | 「姫路城のしかけ」                                |
| 小2            | 松本 結衣         | 「りゅうきゅうガラスづくり」                           |
| 小3            | 桑原 風杜         | 「スケルトンたまごができた！！」                         |
| 小3            | 篠原 理咲         | 「色の三原色について調べよう！」                         |
| 小3            | 吉田 昂          | 「ぼくの好きな NYC の橋」                          |
| 小4            | 福居 篤          | 「ゴリラを調べた！！」                              |
| 小4            | 安永 恵深         | 「（メトロポリタン美術館）Met のガイドブック」                |
| 小5            | 小坂井 春弥        | 「赤ちゃんのおどろき」                              |
| 小5            | 三佐川 紗空        | 「なぜ星によって体重がちがうのか」                        |
| 小6            | 桑原 大河         | 「家の調味料で納豆の糸を短くしたい！」                      |
| 小6            | 丸田 琉生         | 「1ペニービカビカ選手権」                            |
| サタデースクール NJ 校 |               |                                          |
| 小1            | 栗田 夏帆         | 「でんきはどのようにやってつくるの？」                      |
| 小1            | 佐久間 まゆ        | 「まゆのサメずかん」                               |
| 小1            | 鈴木 美瑠         | 「まほうのインク」                                |
| 小2            | 大石 みゆ         | 「ワンタッチのなぞ」                               |
| 小2            | 笹原 元          | 「カメについて」                                 |
| 小2            | 村田 玲央         | 「ことわざカレンダー」                              |
| 小3            | スピニ 琉伊        | 「食べもののくさり方がいい」                           |
| 小3            | 平野 泰地         | 「きれいな水を作ろう」                              |
| 小3            | 三原 明季         | 「もっくん作り」                                 |
| 小4            | 石原 果歩         | 「手作り豆ふがでできるまで」                           |
| 小4            | 鈴木 健斗         | 「いろいろ結晶作り」                               |
| 小5            | 上村 織永         | 「カラー魚たくって何？」                             |
| 小5            | スタマタキークリストファー | 「大根」                                     |
| 小6            | 小田切 柚子        | 「スヌースのひみつ！」                              |
| 小6            | 高山 誠一郎        | 「もやしの育てる場所」                              |
| サタデースクール PW 校 |               |                                          |
| 小1            | 熊坂 連次郎        | 「デボシのかせき」                                |
| 小2            | 伊藤 由宇菜        | 「赤いみは、みんな黄色い花？」                          |
| 小2            | ドネリー 瀬夏       | 「ニューヨーク・カナダ どうぶつしょうさい」                   |
| 小3            | 熊坂 佳一郎        | 「三葉虫」                                    |
| 小3            | 高田 愛奈         | 「ちようちようも大きさにばらつきがある」                     |
| 小3            | 東山 祥乃和        | 「真じゆのひみつ」                                |
| 小5            | ドネリー 優希       | 「鳥の子育ての方法」                               |
| 小5            | 渡邊 愛明         | 「モルモット（てんじくねずみ）の研究」                      |
| 小6            | 東山 祥耀希        | 「3Dプリンターで役に立つものを作ってみよう！」                 |
| 小6            | 東山 祥来杜        | 「天文学の基礎知識」                               |
| 小6            | 秋葉 健太郎と中原 琉貴  | 「イルミナティの秘密」                              |
| サタデースクール M 校  |               |                                          |
| 小1            | ファミ 瀬渚        | 「にじのかめ」                                  |
| 小1            | 堀越 愛子         | 「うみとさかな」                                 |
| 小2            | 近田 依希         | 「ふしぎなハチのせかい」                             |
| 小2            | 武智 麻郷里花       | 「からす」                                    |
| 小3            | チェン 聡弥        | 「ぼくのゆめの家」                                |
| 小3            | 丸田 泰          | 「リニアモーターカー クロスワード」                       |
| 小3            | マーテルマエリス 実    | 「お手紙」のかわるくんがまくんへの手紙を<br>ほかの動物にたのんだら・・・？」 |
| 小4            | グッドマン あみり     | 「作ろう！絵文字アイシングクッキー」                       |
| 小4            | 藤本 一葉         | 「食品サンプル」                                 |
| 小5            | 岩井 心夏         | 「比べよう！日本とブルガリアの食事」                       |
| 小5            | 関倉 由紗         | 「アメリカ独立戦争～世界中になりひびいた銃声～」                 |
| 小5            | マーテルエリアース 歩   | 「トレイルカメラと手作りセンサーカメラで野生動物の写真を撮る」          |
| 小6            | 食本 桜奈         | 「マイクロプラスチックについて」                         |
| 小6            | マーテルリディア 望    | 「星座を地球の外から見たら？」                          |
| 小6            | モリス 織美亜       | 「寄生虫について」                                |
| 中1            | 藤村 佳伶         | 「ふるさと祭りを調べよう」                            |
| 中2            | 安井 咲月         | 「食べ鯛、切り鯛、魚は鯛」                            |
| 中3            | 岩村 美弥         | 「身近な食の危険」                                |
| 中3            | 富田 愛花里        | 「時間認識」                                   |
| 中3            | 船引 香苗         | 「なぜ水と油は混ざらないの？」                          |

| 学年                       | 児童生徒氏名     | 作品名                                                 |
|--------------------------|------------|-----------------------------------------------------|
| サンデースクール NJ 校            |            |                                                     |
| 小1                       | 押川 怜奈      | 「おりがみの秘密」                                           |
| 小1                       | モイ ケネス     | 「楽しいな。バスケット。」                                       |
| 小1                       | ローズ メイソン   | 「なつやすみにほんのおもいでひらがなかるた」                              |
| 小2                       | 佐々木 愛理     | 「たべものをうかせてみよう！」                                     |
| 小2                       | 寺井 俊太郎     | 「電気せつやく大きくせん」                                       |
| 小3                       | 井川 瑛介      | 「ダイヤモンドはなぜ高価なのか？」                                   |
| 小3                       | 石川 大夢      | 「アルゴンキンの自然」                                         |
| 小3                       | 小澤 航太      | 「車のエンジンの仕組み」                                        |
| 小3                       | 長井 結人      | 「イエローストーンの熱水現象」                                     |
| 小3                       | 深瀬 陽己      | 「バスケットボールせん手図かん」                                    |
| 小3                       | 李 泰成       | 「家でできるかんたんなポート実験！」                                  |
| 小3                       | ローズ ジェイムン  | 「ありは本当に一番あまい物が好き？」                                  |
| 小4                       | マレスコット 匠   | 「日立の気温」                                             |
| 小4                       | 鷲尾 舞子      | 「育てよう生きた化石ブラインシュリンプ」                                |
| 小5                       | フェイ マヤ ヒラ  | 「とうふの活動報告」                                          |
| フレンズアカデミー アフター           |            |                                                     |
| 小4                       | 橋本 ヘンリー    | 「ライチョウとアルプスの花」                                      |
| フレンズアカデミー ウィークエンド        |            |                                                     |
| 小1                       | コーリー リアム   | 「つながる出島」                                            |
| 小1                       | 安田 愛華      | 「うめシロップのつくりかた」                                      |
| 小1                       | ガスパー マノン   | 「たねあてゲーム」                                           |
| 小2                       | 佐久間 健翔     | 「植物の育つ長さ調べ」                                         |
| 小2                       | 関谷 葉奈      | 「アレルギーでも大丈夫なチーズケーキ」                                 |
| 小3                       | 堀川 菜々      | 「タイタニック」                                            |
| 小3                       | マッコークルテイラー | 「クワガタのメスの研究」                                        |
| 小4                       | 坂本 仁       | 「サンヴィートの生物と植物」                                      |
| 小4                       | 高橋 智愛      | 「日本のお香」                                             |
| 小4                       | シュクラ ノア    | 「はちの新聞・うちゅうの新聞と宇宙」                                  |
| 小4                       | カンボ ヴィンセント | 「アボカドの育て方」                                          |
| 小5                       | 市川 恵太郎     | 「ツバメの巣の観察」                                          |
| 小5                       | マッコークルエイデン | 「きおんのひかく」                                           |
| 小5                       | 南雲 真也      | 「ごみもんだい」                                            |
| アフタースクール NJ 校            |            |                                                     |
| 小1                       | 窪田 花音      | 「コアラのからだ」                                           |
| 小2                       | 藤原 咲月      | 「おしごとしらべ」                                           |
| 小3                       | 窪田 奏音      | 「フタユビナマケモノ」                                         |
| 小4                       | ナガツカ セレーネ  | 「じょうもん時代について」                                       |
| 小5                       | 藤原 康太郎     | 「国会き事堂」                                             |
| 小5                       | マーシャル めい   | 「架空の生き物」                                            |
| りんごラーニングセンター サタデー英語補習教室  |            |                                                     |
| 小4                       | 秋山 悠那      | 「SAKURAJIMA」                                        |
| 小4                       | オエム たいら    | 「Common Snapping Turtle, Alligator Snapping Turtle」 |
| 小4                       | 前川 彩夏      | 「Differences between Japan and the USA」             |
| 小6                       | 秋山 遼太郎     | 「Sakurajima (Ontake)」                               |
| ホームスクールシステム（出品がありませんでした） |            |                                                     |



展示作品の中で「創造性があり、自らの言葉と力でまとめたもの」と認められた作品には、このシールが貼ってあります。

※学園 HP 上では過去の作品集をご覧いただけます。

お問い合わせ／企画推進担当：小嶋 絵美

# 2019 育英サマー

## りんごラーニングセンター サマーデイキャンプを終えて

### <きりんのへや こども園>

サマースクールを楽しみにしていた、きりんのへやの小さな子ども達は、水着での毎日の登園に大興奮でした。「きょうも おみずで ぴちゃぴちゃあそぶの。」と、朝の会でも毎日子ども達はやるき満々でした。

NY 育英学園のグラウンドを使つての水遊びや、シャボン玉を使った大きなタライいっぱいあわあわ遊び、そして紙のたこ焼きやホットドッグが並んだ夏祭りごっこなど、夏ならではの時間を五感をたくさん使って楽しみました。



このきりんのへやデイキャンプを終えて、おむつを卒業できた子、洋服の脱着が上手になった子、靴の左右が分かるようになった子、ご飯を一人で上手に食べることが出来るようになった子等、成長が随所に見られました。

### <語学部門>

6 月末より始まった英語サマーデイキャンプも、9 月の現地校の新年度開始と共に終了しました。今年度も 1st, 2nd, 3rd, 4th セッションと、子ども達のたくさんの笑顔が溢れた 2 か月間でした。

1st & 2nd セッション(各 3 週間&2 週間)では、子ども達が、朝の登校から 4 時の下校まで、毎日そして一日中、英語を使って過ごすことに挑戦しました。日頃は、日本語を使って過ごしている友達や仲間と、昼食時のリラックスした会話まで英語を使うのは、少し照れくさくて、最初の数日は、静まりかえった中での昼食でした。毎日の勉強や、外での活動、休み時間の英語ゲーム等を通して、友達との何気ない簡単なコミュニケーション英語がチラホラ聞こえてくると、それをさらに吸収した子ども達は直ぐに、昼食時の楽しい会話に活用して、開始から 4 日も過ぎれば、大きな笑い声が聞こえる、美味しい楽しい昼食の時間となっていました。これが、生きた英語とでも言うのでしょうか。英語を喋って聞いて、大笑いしている子ども達の声を聴くことが私の最大の喜びです。

3rd セッションは、午前・午後を低学年・高学年に分け、それぞれ毎日 3 時間のデイキャンプを実施しました。授業の最初には、



宿題の一つである日記をしっかりと読んで発表し、全員で 3rd セッションのテーマソングを歌ってキャンプの一日が始まります。今年のセッションのテーマは、「Sea Animals」と「World Around Me」でした。それぞれテーマに関係づけたアートやサイエンスをふんだんに取り入れ、興味深く、活動が盛り沢山の毎日となっていました。

4th セッションは、9 月の現地校の新年度に合わせて渡米をしてきた児童達で、クラスが盛り上がりました。英語の授業のみならず理科や社会にも触れ、「英語での授業の世界」をりんごで初体験しました。緊張して臨んでいた子たちも、Homework に積極的に取り組み、成果を残すことができました。自信を持って、現地校の新年度初日を迎えることができました。

来年も多くの子ども達の参加をお待ちしています。

お問い合わせ／りんごラーニングセンターディレクター：半場 綾子

## 2019 年フレンズアカデミー・サマースクール報告

マンハッタン・アッパーウエストの新校舎に移転してから第 4 回を迎えるフレンズアカデミーサマースクール。期間中の参加者は延べ 130 人を超え、毎日園舎に楽しい笑い声が響き渡る、とても賑やかな夏となりました。今年のサマースクール幼児部・小学部共通のテーマは「日本の伝統的な文化を体験しよう」でした。



第 2 週目は暑い夏を涼しく過ごそうと「海」をテーマに活動しました。制作活動では、スイカの種の形を模ったステンシルを使った手ぬぐい染め、プラ板を使った「スイカ」の形のキーホルダー作りを行いました。その週の終わりの金曜日には恒例のスイカ割り大会が実施され「右、いや左」「もっと前、後ろ」などと子ども達の大きな声が園舎内に響き渡っていました。初めてスイカ割りに挑戦をした子どもは「目隠しをして何も見えなかったけど、思い切りスイカをたたくことができた」「自分で割ったスイカはいつも

食べるよりずっと、ずっとおいしかったよ」などと笑顔で話していました。

4 週目のテーマ「夏祭り」。制作活動ではオリジナルの法被作りを行いました。最初に黒絵の具で自分の名前を法被に大きく書いた後、魚の形を模して自分の手形で模様をつけていきました。そして最後は彩り豊かなジェルペンで手形の魚の縁取りをして完成。その週の金曜日に行われた「フレンズアカデミー夏祭り」で自分で作った法被を着用し、笑顔いっぱいに「マンハッタン音頭」を踊りました。

小学部のサマースクールは 7 月 29 日から始まりました。幼児部同様に週毎にテーマを設けてプログラムを実施しました。第 8 週目の小学部のテーマは「日本のアニメーション」。毎日少しずつ、ジブリ映画「となりのトトロ」を日本語で鑑賞しながら、映画に出てくる言葉や情景、登場人物の心の移り変わり等について学習し、それらを自分の言葉で綴りました。工作の時間にはオリジナルの灯籠制作に挑戦しました。灯籠の 4 つの面にはそれぞれが思い描く、自分の持つ世界や好きなこと、好きなものを書き記しました。そして週の最終日である金曜日にはその発表会が行われ、会場からは子ども達に大きな拍手が送られました。



フレンズアカデミーサマースクールでは 2019 年度よりプロのインストラクター指導による水泳教室を週 3 回へと増やし、水泳指導にも更に力を入れました。水中での水平姿勢保持やリラクゼーションを中心とした最先端の指導により、日ごとに泳力が向上していく姿には目を見張りました。

12 月 26 日 (木) ~ 28 日 (土)

にはウインタースクールが予定されています。日本の伝統的な遊び(けん玉、めんこ、駒回し、竹馬など)やお正月にまつわる文化体験を計画しています。奮ってご参加ください。

※詳細はフレンズアカデミー事務局まで

電話：212-935-8535

E メール：friends.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ／フレンズアカデミーディレクター：河野 茂

# PW 校アフタースクール現地校の英語・宿題サポート教室

## ～ 現地校でのがんばりを応援！ ～

NY 育英アフタースクールポートワシントン校では、2019 年秋より、現地校で出題される宿題のサポートを目的として、現地校の英語・宿題サポート教室を開講いたします。

現地校に通う子ども達は、第二言語で学習をしていくことになり、英語を習得しながら学校の授業を受け、日々、宿題をこなしていかなければなりません。現地校に入ってから間もない子どもたちは、英語での学習に対して、私たちが想像する以上にストレスを感じています。

そこで、子ども達のストレスを少しでも軽くできるように、また少しでも早く現地校の教科学習に追いつけるように、サポート教室を開くこととしました。

現地校の授業の中で、英語では理解できない内容も、日本語でしっかり理解することで、自信が生まれ、学習をスムーズに進めることができます。理解できる喜びは、現地校でがんばれる原動力となります。



また、子ども達だけではなく、ご家庭でも忙しく現地校のお子様の宿題を見てあげられない、英語がわからないので教える事ができない、お子様一人では宿題ができないなど、様々な理由でお悩みの方もいるかと思います。教室をご利用いただくことで、ご家庭での負担を減らすことも、このサポート教室を開く理由の一つとなっています。

教室は、2 名から 3 名の少人数で行います。少人数で行うことで、わからない所をしっかりと集中して学習することができます。現地校で、子ども達が一步一步確実に歩みを進められるように、ぜひ英語・宿題サポート教室にご参加ください。



### 【現地校の英語・宿題サポート教室】

対象：小学生

定員：2～3 名

開講日：毎週月曜

時間：午後 3 時 50 分～1 時間

午後 4 時 50 分～1 時間

午後 5 時 50 分～1 時間

\*上記から希望の 1 時間

### 指導内容

- ★ 現地校の宿題全般(英語・算数)
- ★ 現地校教科書解説
- ★ 日本語での英文法解説
- ★ 少人数による指導
- ★ 語彙、文法、読解、英会話の指導

### ★お問い合わせ先★

NY 育英アフタースクール PW 校

メール：[AfterPW.nyikuei@gmail.com](mailto:AfterPW.nyikuei@gmail.com)

月～金：516-767-3139 (事務所)

<月～金 午前 10:00～午後 3:00>

土：516-455-3871/201-362-5678 (携帯)

サタデーポートワシントン校：長山 千恵子



## 秋の特別活動報告 日本童謡学会より南壽あさ子氏来園

全日制 NJ キャンパスとマンハッタンキャンパス・フレンズアカデミーでは、9 月に日本とアメリカで活躍する歌手 南壽あさ子(なす あさこ)氏を講師に迎えて特別授業「日本の季節を歌でかんじよう」が開催されました。



南壽氏は、日本国内大手住宅メーカーのテレビ CM や、ガス会社のラジオ CM 制作・歌唱、保険会社の web アニメでの語りや音楽を担当、10 月発売のニュー・アルバム『Neutral』は、半分をロサンゼルスでレコーディングをされました。

NJ キャンパスの授業では、日本の四季折々の童謡を中心に進められ、春「さくらさくら」、夏「われは海の子」、秋「もみじ」、冬「雪」などを一緒に歌いました。

南壽氏は、「日本の良いところを知ってほしい」「意味を考えると歌はもっと楽しくなる」など、ご自身の経験談や、歌を交えて分かりやすく話をされました。

子ども達は「南壽さんの歌声がとてもきれいで感動した」「南壽さんのようになりたい」などの話をしていました。子ども達にとって、とても充実した活動となりました。



フレンズアカデミーの演奏会には親子教室、幼児教室、たんぼ幼稚園の園児とその保護者が参加しました。南壽氏の優しく、透き通るような歌声に会場は温かい雰囲気包まれ、あっという間に最後の曲を迎えました。

演奏会最後の曲「小さなラズベリー」では大きな画面に映し出された「ねずみのチョッキ」の動画に合わせて、ピアノの弾き語りを披露。

演奏終了後に南壽氏より手渡しで、直筆サイン入り「ねずみのチョッキ」の絵本が園児一人ひとりにプレゼントされました。子ども達は、優しさと透明感溢れる歌声の魅力に引き込まれていった様子でした。



お問い合わせ／学園事務局

# 2020 年度 募集要項・登録要項

| 部門                                                                                                       | 学部              | 学年           | 定員                | 募集期間                                                                 | 審査試験日                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------|-------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| ニュージャージーキャンパス                                                                                            |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| 全日制デイスクール                                                                                                | 幼児部             | 年少           | 2 6               | 2019 年 12 月 2 日～2020 年 1 月 10 日まで                                    | 2020 年 1 月 31 日       |
|                                                                                                          | 小学部             | 小 1          | 2 4               | 2019 年 12 月 2 日～2020 年 1 月 7 日まで                                     | 2020 年 1 月 17 日       |
| アフタースクール                                                                                                 | 幼児部             | 年少～年長        | 1 0               | 2019 年 12 月 2 日～2020 年 1 月 10 日まで                                    | 随時                    |
|                                                                                                          | 小学部             | 小 1          | 1 2               | 2019 年 12 月 2 日～2020 年 1 月 10 日まで                                    | 随時                    |
| サタデースクールN J 校                                                                                            | 幼児部             | 年中           | 2 4               | 2019 年 12 月 2 日～2020 年 1 月 4 日まで                                     | 2020 年 1 月 18 日       |
|                                                                                                          | 小・中・高           | 小 1～高 2      | 若干名               | ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。                                     | 随時                    |
| サンデースクール                                                                                                 | 幼児部             | 年中～年長        | 2 0               | 2019 年 12 月 2 日～2020 年 1 月 5 日まで                                     | 2020 年 1 月 19 日       |
|                                                                                                          | 小学部             | 小 1～小 6      | 若干名               | ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。                                     | 随時                    |
| いろはにほんご教室                                                                                                | 国語クラス           | 小学生          | 8 名               | 学年についてはご相談ください。                                                      | なし                    |
|                                                                                                          | 日本語クラス          | 小学生          | 8 名               | 学年についてはご相談ください。                                                      | なし                    |
|                                                                                                          | Nihongo         | 小学生          | 8 名               | 学年についてはご相談ください。                                                      | なし                    |
| りんごラーニングセンター                                                                                             |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| きりんの部屋 こども園                                                                                              | 2 歳半～年長         |              | 3 0 名             | 異年齢クラス                                                               |                       |
| 親子クラス                                                                                                    | 1 歳以上、2 歳程度     |              | 1 0 名             | 1 歳以上（火・木）・2 歳程度（水・金）                                                |                       |
| 語学部門                                                                                                     | 幼児～大人           |              |                   |                                                                      |                       |
| マンハッタンキャンパス                                                                                              |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| サタデースクールM校                                                                                               | 幼児部<br>幼・小・中    | 年中<br>年長～中 3 | 1 8<br>若干名        | 2019 年 12 月 2 日～2020 年 1 月 4 日まで<br>ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。 | 2020 年 1 月 18 日<br>随時 |
| フレンズアカデミー                                                                                                |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| ＜週日クラス（月～金）＞                                                                                             |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| 全日制たんぽぽ幼稚園                                                                                               | 幼児部             | 年少～年長        | 1 5               | 2019 年 12 月 2 日～2020 年 1 月 10 日まで                                    | 2020 年 1 月 24 日       |
| 親子教室                                                                                                     | およそ 1 歳から 3 歳未満 |              | 7 組               |                                                                      |                       |
| 幼児教室いちご組                                                                                                 | 幼児 3 歳以上の未就学児   |              | 1 2               |                                                                      |                       |
| ＜アフタークラス＞                                                                                                |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| いろはにほんご教室（日本語基礎教室・国語教室・Japanese Lesson for Adult）、国語算数教室、書道教室、音楽教室（ピアノ・バイオリン・ギター）、プライベート・セミプライベートチュータリング |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| ＜ウィークエンドスクール＞                                                                                            |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| 幼児教室 I・II、いろはにほんご教室（日本語教室・国語教室）、国語算数教室、ピアノ教室                                                             |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| ポートワシントンキャンパス                                                                                            |                 |              |                   |                                                                      |                       |
| サタデースクールPW校                                                                                              | 幼児部             | 年中           | 2 4               | 2019 年 12 月 2 日～2020 年 1 月 4 日まで                                     | 2020 年 1 月 18 日       |
|                                                                                                          | 小中高             | 小 1～高 2      | 若干名               | ウェイティングの部門・学年もありますので、お問い合わせください。                                     | 随時                    |
| アフタースクールPW校                                                                                              | 平日アフター特別国語教室    |              | 小学 1 年生～中学 3 年生   |                                                                      |                       |
|                                                                                                          | いろはにほんご教室       |              | 土曜日国語クラス、アフター作文教室 |                                                                      |                       |

- ・2020 年度よりホームスクールシステムは各サタデースクール、サンデースクール附属となります。
- ・ウェイティングを受付中の部門・学年もあります。詳細は事務局までお問い合わせください。

## ～NY 育英学園 N J キャンパス全日制における音楽教育～

NY 育英学園全日制小学部では、2020 年度より、歌や器楽の演奏を含め、子ども達が将来にわたり音楽を幅広く楽しむことができるよう、器楽の学習機会を拡充します。

毎週 2 コマの音楽授業のうち、1 コマを従来通り文科省の教科書に沿った学習に充て、もう 1 コマで器楽の練習やまたその必要準備としてのリズム打ちや視唱などのソルフエージュを行ないます。

学習する楽器は米国一般校での学習を参考に、また児童の発育段階や身体的な制約を考慮し、表（右）のように割り当てて取り入れます。新たに導入される管楽器は高学年からの導入となりますが、それまでに鍵盤楽器での学習を十分に行うことで、必要な音感や読譜の能力を養います。また第 3・第 4 学年で小学校のリコーダーの学習内容を一通り習得

し、管楽器での演奏に備えます。

加えてソルフエージュを各学年で行い、音感、リズム感、そして楽譜の初見演奏能力を高めます。これらの学習を通じて、音楽的な能力向上とともに、音楽を楽しむ意欲を高め、豊かな感性を育てていただきたいと思います。



| 学年                         | 楽器                                                       |
|----------------------------|----------------------------------------------------------|
| 第 1 学年<br>第 2 学年           | 【打楽器・鍵盤楽器】<br>－ 簡易な各種打楽器<br>－ 木琴・鉄琴・キーボード                |
| 第 3 学年                     | － リコーダー<br>－ 鍵盤楽器                                        |
| 第 4 学年<br>第 5 学年<br>第 6 学年 | 【管楽器・打楽器】<br>－ フルート・クラリネット<br>－ サックス・トランペット<br>－ パーカッション |

※内容は変更になる場合がございます。



お問い合わせ／学園事務局



# 第 7 回 アメリカサマー留学

## ～日本全国被災地支援 招待企画 2019～



ニューヨーク育英学園では、東日本大震災発生後より、被災した子ども達の為に支援活動を行なっております。震災により親を失った子ども達のための支援活動及び、ケア施設『レインボーハウス』の建設に協賛し、集まった義援金をあしなが育英会へ寄付しております。

また、義援金活動だけでなく、被災した子ども達と直接関わり、本学園ができる支援活動として、学園が主催する『育英サマーデイキャンプ』に東北被災地の児童 2 名を 2013 年夏、初めて招待しました。あしなが育英会のご協力により、子ども達は有意義な時間をアメリカで過ごし、たくさんの思い出を作ることができました。

翌年以降も継続し、2017 年度は、九州地方の被災地も対象に広げ、さらに青少年を対象として本学園サマー宿泊キャンプへボランティアスタッフとして招待いたしました。2018 年度以降はさらに、日本全国の被災地を対象に広げました。

第 7 回を迎えた今夏は、小学 5 年生の男子児童 2 名と女子大学生 1 名を東北から招待いたしました。小学生 2 名は例年と同じく育英サマーデイキャンプの後期に 1 週間参加しました。サマーデイキャンプでは水泳や育英カップ、理科実験など様々な活動を楽しみました。

フィールドトリップでは、みんなでリバティーサイエンスセンターに行きました。風や水の力を利用して動くアトラクションを体験したり、3D 映画にを見たりと子ども達は終始驚きと喜びに満ち溢れていました。

言葉の時間では、現地の子ども達と一緒に英語の授業を受けて、最終日には全員の前で英語で発表をしました。

放課後や休日には NY&NJ 観光をしました。タイムズスクエア、セントラルパーク、エンパイアステートビル、ブルックリンブリッジを歩いて渡ったり、ヤンキーススタジアムでの試合観戦など、時間の許す限り楽しい思い出をたくさん作りました。週末には海で魚釣りをしたり、フェリーで NJ から NY へ渡り新名所 Vessel を見学したりと、アメリカならではの体験をしました。

本企画では、様々な団体・企業の皆様よりご支援をいただいております。本年度は IACE Travel 社、JAL 日本航空社、Daily World Press, Inc. (Daily Sun New York)、NY 日系人会等の企業の皆様や、個人の方に多大なるご支援をいただきました。誠にありがとうございました。また本学園に在籍されているご家庭にホストファミリーとしてホームステイにご協力いただいております。今年度も 2 家庭より、大変温かいおもてなしを頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



＜サマーデイキャンプ「育英カップ」の風景＞

本学園では、今回初の試みとして 2019 年春に本企画における招待留学生の渡航費用（半額分）として 8,000 ドルを目標金額としてクラウドファンディングを開始いたしました。目標金額は達成されておりませんが、引き続きクラウドファンディングを行っております。どうぞご協力をお願い申し上げます。ご家族、ご勤務先、お知り合いの方々に情報を広めて頂いた方、温かいご支援を頂いた方、誠にありがとうございました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。皆様のお気持ちが大変嬉しく励みになりました。

ご協力いただいた企業・団体、その他多くの個人の皆様よりご協力いただきました。他方面からの温かい皆様の協力ご支援に助けられ、招待留学生たちは大変充実した夏をアメリカで過ごすことができました。ありがとうございました。

来年も本企画を引き続き実施いたしますので、皆様のご支援をお願い申し上げます。

ニューヨーク育英学園では、震災被害に遭った日本の子ども達への支援を一時的なものとせず、今後も継続して「アメリカサマー留学」企画を実施して参る所存です。次年度以降は対象を被災地に限定せず、保護者を亡くした児童生徒に対象を広げる予定です。

本企画へのご支援は、年間を通して受け付けております。招待児童・青少年の航空券をはじめ、使用目的を指定しての寄付も可能です。

N Y 育英学園は米国非営利団体（IRS501 (C) (3)）として認定されており、米国での税金控除の為の証明書を発行できます。団体や企業の皆様、在籍家庭の皆様、また本企画へご賛同いただける個人の皆様からの温かいご支援ご協力をお待ちしております。何卒よろしく申し上げます。



## 留学生からの御礼のお手紙より（抜粋）

「この前はこのアメリカでの 10 日間のためにごきふをしてくださりありがとうございました。おかげで 10 日間がとても楽しくできました。この思い出を忘れずにこれからもがんばりたいです。（小学 5 年生）」

「ご寄付ありがとうございました。そのおかげでアメリカでホームステイができました。たのしかったです。みなさまほんとうにありがとうございました。（小学 5 年生）」

「この度は私達のためにご支援をくださり、本当にありがとうございました。はじめての NY は見たことのないものばかりで、何もかもが新鮮でした。多くの方とも出会うことができ、NY は人も風景も全てが素敵な街でした。貴重な経験をさせてくださりありがとうございました。（大学生）」



＜福島県請戸の田植え踊りを教える一幕＞

ASHINAGA  
あしなが育英会

DAILYSUN NEWYORK JAL JAPAN AIRLINES

IACE IACE TRAVEL

107 Years of Community Service  
★ 助け合って 107 年 ★

お問い合わせ／サマー留学担当：岡田 幸子

# 2019 育英サマー

## ＜育英サマーデイキャンプ＞

6月24日(月)から前期3週間、後期2週間の計5週間、7月末まで幼児部・小学部サマーデイキャンプが緑豊かなNJキャンパスで開催されました。

サマーと言えば、水遊び、水泳がやはり一番の人気です。年長から6年生まで、NY育英ならではの本格的な水泳指導で、めきめきと上達します。最終日、個人メドレーに挑戦する子ども達の力泳にはひときわ大きな声援が響きわたります。



水開きの後は、NY育英名物「そうめん流し」です。そうめんだけではなく、ぶどうやグミも流れてくる不思議なそうめん流しです。他にも七夕の笹飾り作り、空手の型体験、墨流し染め制作、どろんこ遊び、そして縁日ごっこ、盛りだくさんでした。また、今年も子どもも大人も大好きな移動動物園を運動場で開園し、牛、ラマ、アルパカ、山羊、七面鳥、アヒル、ひよこなどなど、30匹以上の動物達を触ったり、抱っこしたりとふれあい体験を楽しみました。



また、小学部では、育英オリンピックや泊泊キャンプなどのお楽しみの活動に加え、言葉の学習(日本語、英語選択制)、理科実験など学習の要素もしっかりと取り入れられています。今年のテーマは前期が「地球探検」、後期が「タイムトラベル」でしたが、北京原人、浦島太郎、葛飾北斎、千利休らが登場。利休からは子ども達にお饅頭と抹茶がふるまわれ、「お饅頭と一緒に飲むといいね。」「苦い。」など過去の偉人とのひと時を楽しみました。



各期の最後には水泳発表会、学習発表会、図工作品展示会を行ない、保護者の皆様と共に学習や活動の成果を楽しみました。



## ＜野球教室＞

NY育英学園の野球教室は、野球の技術向上はもちろんのこと、マナーや礼儀、道具の扱い方を学ぶ機会でもあります。毎回の練習の最後には全くの初心者から普段から野球チームに入っている子までが安全に楽しめるように特別ルールを設けて、全員が投打に活躍できるように工夫しています。

## ＜いろはにほんご教室＞

サマーの間だけでも日本語を学ばせたい、強化したい等のご要望を受けて開始した「サマーいろはにほんご教室」も4年目を迎えました。サマーデイキャンプに参加するしないに関わらずに取ることができるようにと、午後4時から1時間半の放課後プログラムとなっています。また、お客様の日本語能力に応じて3つのクラスが用意され、学年・人数・日本語レベルに合わせて臨機応変に学習内容が工夫されています。

今夏は日本から取り寄せた課題図書を読んで読書感想文を仕上げたとともに、硬筆(文字指導)、俳句作り、絵本作り、漢字学習、日本語検定問題への挑戦など、毎日時間が足りないほど豊富な内容を笑顔でこなした参加者たちでした。なお取り組んだ作品は対象となるコンクールへ出品され、入賞を果たすなど結果が成果と結びついています。

## ＜宿泊キャンプ レイクグリーンリーキャンプ場＞

今年も小中学生24名が6月29日から7月13日まで、ペンシルバニア州にあるレイクグリーンリーキャンプ場で2週間の宿泊キャンプが実施されました。50年以上の歴史ある同キャンプをニューヨーク育英学園が利用して今年で23年目。キャンパーをはじめ、スタッフはアメリカ国内だけでなく、ヨーロッパや南米など世界中から集まってきます。これら様々なスタッフとの交流ができるのもこのキャンプの魅力です。広大な敷地にはプール、サッカー場、野球場、テニスコート、劇場、アーチャー場、空中ブランコ、乗馬場、大型体育館などたくさんの施設があり、60ほどのアクティビティーから、それぞれ専門のカウンセラーの指導を受けることができます。



キャンプへは、男女一各ずつ学園の教師が同行し、子ども達が不安なく楽しめる様にサポートします。また、キャンプ場のプログラムに加え、学園独自の日本語によるプログラムも用意しています。



お問い合わせ／NY育英事務局長：上妻 雅浩

# ～教育座談会シリーズNJキャンパスサタデースクール～



## 育英サタデースクール ニュージャージー校の 魅力を保護者が語る インタビュー対談 Vol.1

インタビュー：半場 綾子 以下 半)  
(サタデーNJ校ディレクター)

## 学力以上のものを得られる サタデーNJ校

語り手：尾崎さくら 様 以下 尾)  
(二女の母)

コットマンソフィア(年中～中学部卒業)  
コットマンヘレナ(年中～現中学部2年在籍)

半) 育英サタデーを選んで続けている理由は何か。

尾) 国語・算数のドリルをすることだけでなく、登校して日本語で挨拶をして、朝の会があること。育英サタデーという“日本”に毎週末遊びに来る感覚でいられること。そして、友達や先生と日本語で話し、

礼儀作法やお辞儀、運動会のハチマキや紅白帽といった、日本ならではの細かなことに興味をもってくれること。それらを娘たちにとっても大切にしていました。ですから、日本に帰った時に、読み書きだけではなく、日本の家族と滞りなく話すことが出来たり、価値観を共有できているのです。これが、ずっと育英サタデーを続けてきている大きな理由ですね。元々の動機は、娘たちが全く日本語がわからないと、日本に行くのも楽しくないだろうから何とかしようと考えたのが始まりでした。

半) 最近では現地校で1年生になってから入学しようとする家庭が多くなっています。幼児部またはそれ以前に、日本語にたっぴりと接する環境、保育者や友達との会話、お遊戯や紙芝居といった集団保育の積み重ねが、小学校1年生の勉強のスタートの準備となるのです。

尾) 英語が出来ればグローバルという考え方には本当に異議があります。どれだけ中身のある表現ができるのか、人間的な厚みを持つことができるのかを考えて、親は環境を整えないといけないと思います。日本語は言語学的にも難しく、娘たちが日本語をまず一番に習得したということはとても大きいです。母親の言語である日本語をベースに、父親と

の英語もしっかりと体得しました。その後は、イタリア語、ドイツ語と3か国語、4か国語と習得するのは、本当にびっくりするほど速かったです。そしてグローバルを目指すならば、一番に日本語や日本人であるアイデンティティに誇りを持てる自分を作っておくことです。海外に住む日本人は、多かれ少なかれ恥ずかしさを抱えることがあります。そのような時に、日本人としての誇りを持って立ち向かっていけるような環境づくりを、親はしてあげるべきです。また、母親の私のことをわかってほしい、そして娘たちも日本人としての魂を持ってほしいという気持ちもあって長年育英サタデーに通わせてきました。週に一度を10年積み重ねたことはとても大きいですね。

半) 日本語を学ぶ所というのみの学校ではなく、日本語をそして文化や価値観を、植物が根を張るように積み重ね成長する機会を子ども達に作ってあげたい、スタッフと手作りのサタデースクールの、子ども達に存分に楽しんで欲しいと思っています。

尾) NY育英学園が母校という意識が娘たちにはあります。校舎を通してのつながりもあり、愛着があり、学力以上のものを得られていると実感しています。様々なバックグラウンドの子ども達が、小さな1クラスにギュッと集まり、長年の集団生活の積み重ねが、アットホームなコミュニティー感を作り出しています。また育英サタデーの先生方は、日本の教育スタイルをそのまま行うのではなく、そして点数主義でもなく、子ども達が楽しんで学べるよう学年ごとにユニークな工夫をしたり、叱咤激励を親身に行ってくれているからとてもありがたいです。また、学校の役割をとて理解してくれていて、子ども達のことを思って尽力して下さっていることが、ひしひしと保護者に伝わっていますよ。

## 文化を複数知ること、将来人間として深みが出て、そして強みとなる

語り手：原純子 様 以下 原)  
(男女2子の母)  
原大和(小学部4年～現中学部3年在籍)  
原七海(年長～現小学部5年在籍)

半) 土曜日の他の教育施設から、育英サタデーへ転入してきた理由は何ですか。

原) 小学部の教科に、体育があったり、担任



が全てを教えるのではない専科の科目があったり、理科実験のことも聞いたり、多くの行事を取り入れていると伺ったからです。実際、多くの行事があつてびっくりしました。運動会はもちろんのこと、絵画教室や天下一縄跳び大会、そして新年の書き初め大会もあります。また、夏休みには自由研究があり、この取り組みで子どもが何に興味を持っているか、家庭で話す機会がとて増えました。秋にはマラソン大会等、日本では大人数に紛れて自信が持てないような体育行事でも、育英サタデーでは少人数で自信をもって行事に臨むことができ、身体で感じて毎回充実しています。また、長男は、数学検定も自ら受けたいと言っており、NY育英学園で検定が実施されることもありがたいです。実は、娘に育英サタデーの好きなどところを聞きましたら、体育と理科と行事って答えたんですよ。

半) 芝生のグラウンドをめいっぱい使った体育、裏庭や学級園、実験道具を使った理科の授業、そして様々な行事は、借用校ではない校舎がある学校の魅力の一つでもありますからね。

原) 学園に一步入ると、そこは“日本”であり、掲示板や園児児童の作品等があり、子ども達も校舎に入ると頭が切り替わるんです。そして、この学び舎が大好きで、行きたくないと思ったことは一度もないって兄妹とも言っています。クラスが学年で1クラスなので、仲がいい子と離れない事や、長年の人間関係を子どもたちなりに築くことができるのも魅力です。また、育英サタデーは宿題が多く、作文もあって大変だと聞いていたましたが、作文の添削もしっかりしてもらえてとてもいいと思います。そして、校舎に入ると、子ども達の様子がどうだったか、様々な先生方が報告して下さるのが、多くの目で見守られている感じがしてとても嬉しいです。

半) 兄妹で、育英サタデーを本当に楽しんでいるんですね。

原) 長男は大学は日本に行きたいと言っています。本人は数学を日本語で解けることを誇りに思い、自信になっているんです。日本語ができることはとても大きいですね。彼にとって学園は生活の一部となっています。育英サタデーでは勉強以上に、勉強以外の大切さも強く感じるができます。文化を複数知ること、は、将来人間として深みが出て強みとなると信じています。そして、その過程を自分の子ども達を通して、見ている気がします。

## ★お問い合わせ先★

メール：SatNJ.nyikuei@gmail.com  
電話：201-947-4832 (NJ校)

お問い合わせ/NJキャンパスサタデースクールディレクター：半場 綾子

## New Jersey キャンパス (イングルウッド・クリフス)

8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ 07632  
Phone: (201)947-4832 Fax: (201)944-3680  
E-mail: [Info.nyikuei@gmail.com](mailto:Info.nyikuei@gmail.com)

## 全日制デイスクール 幼児部／小学部

E-mail: [DaySchool.nyikuei@gmail.com](mailto:DaySchool.nyikuei@gmail.com)

### 幼小一貫全日制教育

日本の文部科学省のカリキュラム準拠+ESL&現地校英語

### (幼児部 2017年度より) NY 育英プリクロスメソッド

毎日の英語の時間+金曜日のパリンガルの時間(年長・年中)  
英語でのアートの時間

### (小学部) NY 育英クロスメソッド

毎日1時間の英語+金曜日1日英語=週10コマの英語  
1週間の1/3が英語学習  
充実の7段階の習熟度別の英語クラス編成  
ネイティブレベルは現地校のランゲージアーツの教科書を使用

### ■幼児部

年少組、年中組、年長組、  
ゆり組(ウェイティング特設クラス)

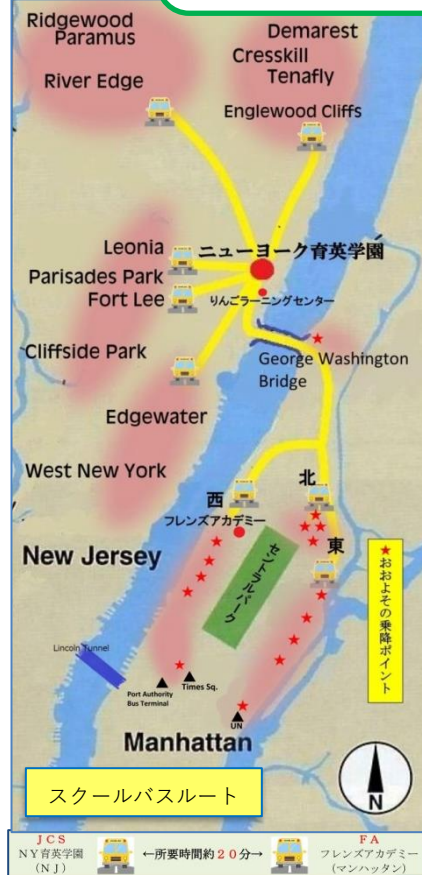
### ■小学部 小学1年~小学6年

### ■様々な放課後クラブ活動

(幼・小) サッカークラブ、水泳クラブ、  
ダブルダッチクラブ、ダンスクラブ、体操クラブ  
(幼児部のみ) ボール遊び、ベビーシッター  
(小学部のみ) 野球クラブ、ボードゲームクラブ、自習室

### マンハッタンからバスをご利用の場合

★Port Authority Bus Terminal から  
NJ Transit →156番  
Coach USA →9 T.A.番  
★George Washington Bridge Bus Terminal から  
NJ Transit →186番  
Coach USA →9A番  
詳細は学園ホームページをご覧ください。



## アフタースクール

E-mail: [AfterNJ.nyikuei@gmail.com](mailto:AfterNJ.nyikuei@gmail.com)

幼児の教室(つばめクラス)  
小学生の国語・算数教室  
E.S.L.(年少~小学6年)  
ピアノ教室 空手教室 合唱部  
書道教室 ダブルダッチ(チーム)  
幼児おんがく教室(年少~年長)  
いろはにほんご教室

→E-mail: [IROHA.nyikuei@gmail.com](mailto:IROHA.nyikuei@gmail.com)

## 育英サタデースクールニュージャージー校

E-mail: [SatNJ.nyikuei@gmail.com](mailto:SatNJ.nyikuei@gmail.com)

幼児部(年中、年長)  
・ベビーシッター  
小学部(小学1年~小学6年)  
・野球部、サッカー部、卓球部、室内球技部、アート部、  
ダンス部、書道部、自習室  
中学部(中学1年~中学3年)  
・中学部活動、書道部、自習室  
高等部(高校1・2年)  
・国語・数学コース  
・社会科(現代社会・日本史) ※選択制として導入

## 育英サマーキャンプ

E-mail: [SummerCamp.nyikuei@gmail.com](mailto:SummerCamp.nyikuei@gmail.com)

サマーキャンプ(宿泊) サマーデイキャンプ  
サマー野球教室 サマーいろはにほんご教室

## 育英サンデースクール

E-mail: [SunNJ.nyikuei@gmail.com](mailto:SunNJ.nyikuei@gmail.com)

幼児部(年中、年長)  
・(幼小同室にて)ベビーシッター・自習室  
小学部(小学1年~小学6年)  
・(幼小同室にて)ベビーシッター・自習室

## 日曜プログラム

日曜ピアノ教室  
日曜バイオリン教室  
日曜野球教室(春・秋)  
自習室+ (おらず)  
日ようびは日本語であそぼう(2歳半~年長児)  
→E-mail: [Nichinichi.Asobo.nyikuei@gmail.com](mailto:Nichinichi.Asobo.nyikuei@gmail.com)  
いろはにほんご教室  
→E-mail: [IROHA.nyikuei@gmail.com](mailto:IROHA.nyikuei@gmail.com)  
日曜 寺子屋アカデミー  
(書道、そろばん、理科実験、アート、料理教室)  
→E-mail: [Terakoya.nyikuei@gmail.com](mailto:Terakoya.nyikuei@gmail.com)

## 育英スキーキャンプ

E-mail: [Ski.nyikuei@gmail.com](mailto:Ski.nyikuei@gmail.com)

日帰りスキー教室(12月~2月)  
宿泊スキーキャンプ(12月、2月)

## フレンズアカデミー (アップパーウエスト)

310 W.103rd Street, New York, NY 10025  
Phone: (212)935-8535 Fax: (212)813-0122

## 全日制プリスクール(NY州認可)

### たんぽぽ幼稚園

E-mail: [friends.nyikuei@gmail.com](mailto:friends.nyikuei@gmail.com)

### ■幼児部

年少組、年中組、年長組

### 週日クラス(月曜日~金曜日)

E-mail: [Friends.nyikuei@gmail.com](mailto:Friends.nyikuei@gmail.com)

### ■親子教室ひよこ組(およそ1歳~3歳未満)

### ■幼児教室いちご組(3歳以上~年長児)

### アフタークラス

### ■いろはにほんご教室

日本語基礎教室(3歳~年長児)、国語教室(小学1年~6年)  
国語算数教室(小学1年~6年) Japanese Lesson for Adult

### ■語学部門

英検対策講座(1次・2次)  
プライベートチュータリング(小学1年~6年)  
プライベートレッスン(大人)  
■書道教室(4歳~大人)  
■音楽教室<ピアノ・バイオリン・ギター>(3歳~大人)  
■どれみふぁクラブ(3歳~年長児)  
■うんどうクラブ(3歳~年長児)

### ウィークエンドスクール(土・日)

E-mail: [WeekendFriends.nyikuei@gmail.com](mailto:WeekendFriends.nyikuei@gmail.com)

### ■幼児教室I・II(3歳~年長児)

### ■いろはにほんご教室

日本語教室(小学生以上)、国語教室(小学1年~6年)  
国語算数教室(小学1年~6年)

### ■語学部門

英検対策講座(1次・2次)  
■音楽教室<ピアノ・バイオリン・ギター>(3歳~大人)

### ■育英ホームスクールシステム支部(NYエリア受付)

育英サタデー・サンデースクール専攻コース 個別カリキュラムコース  
幼児訪問コース 英語指導コース

E-mail: [Homeschool.nyikuei@gmail.com](mailto:Homeschool.nyikuei@gmail.com)

### その他のイベント

### ■季節プログラム

春→親子スプリングスクール  
夏→親子サマー、幼児サマー、小学生サマー  
冬→幼児ウィンタースクール

### ■日ようびは日本語であそぼう(2歳半~年長児)

### ■子育て支援広場「ぼっぽ」(未就園のお子さま)

E-mail: [Kosodate.nyikuei@gmail.com](mailto:Kosodate.nyikuei@gmail.com)

## 育英サタデースクール マンハッタン校

幼児部(年中、年長)  
・ベビーシッター  
小学部(小学1年~小学6年)  
・合唱部、リズムダンス部、書写部、自習室  
中学部(中学1年~中学3年)  
・漢字検定、総合体育教室、音楽部、毛筆、硬筆、自習室  
高等部(高校1年~高校2年)  
・漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、自習室



Location1: Friends Seminary  
Location2: Grace Church School  
Phone: (201)947-4832  
※土曜日のみ: (201)637-3927 (201)449-4501  
Fax: (201)944-3680  
E-mail: [SatM.nyikuei@gmail.com](mailto:SatM.nyikuei@gmail.com)

週日・週末ともに  
マンハッタン内で様々な日本語の  
プログラムが用意されています。

## 育英サタデースクール ポートワシントン校

幼児部(年中、年長)  
・ベビーシッター  
小学部(小学1年~小学6年)  
・漢字検定、総合体育教室、音楽部、毛筆、硬筆、自習室  
中学部(中学1年~中学3年)  
・漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、アドバンス(読・数)、自習室  
高等部(高校1年~高校2年)  
・漢字検定、音楽部、毛筆、硬筆、自習室

マンハッタンから  
ロングアイランド  
鉄道(LIRR TRAIN)  
をご利用の場合  
NEW YORK PENN STATION  
から  
PORT WASHINGTON bound  
にて終点下車。  
(PORT  
WASHINGTON  
STATION)

## Ikuei Saturday School of Port Washington

Location: Carrie Palmer  
Weber Middle School

### Port Washington Office After School

8 Maple Street #6,  
Port Washington, NY 11050  
Phone: (516)767-3139  
土曜日のみ: (516)455-3871  
(201)362-5678  
Fax: (516)767-2753  
E-mail (サタデー):  
[SatPW.nyikuei@gmail.com](mailto:SatPW.nyikuei@gmail.com)  
E-mail (アフター):  
[AfterPW.nyikuei@gmail.com](mailto:AfterPW.nyikuei@gmail.com)

### ■平日アフタースクール

特別国語教室、英検対策講座、  
宿題教室  
いろはにほんご教室  
(土曜日国語クラス、作文教室)



## 2019年度 NY 育英学園主催 日帰りスキー教室&宿泊スキーキャンプ

### 毎年恒例のスキーキャンプ

NY 育英学園アフタースクール部門では、  
今冬もPA州キャメルバックリゾートにて  
日帰りスキーキャンプを開催します。

2019年4月には、プロスキーヤーで全日本  
本スキー選手権大会にて何度も優勝経験の  
ある井山敬介氏が来校し、「雪育」を特別  
授業として行いました。梓にとらわれない  
スキーの魅力と雪の素晴らしさ、困難な状  
況になった時の姿勢や気持ちも持ち方を教  
えていただき、子ども達は以前にも増して  
スキーに対する興味や関心が高まったよう  
でした。



初心者クラスでは序盤にはベルトコンベ  
アエリアにて指導をします。生まれて初め  
てスキーを始める子どもでも安心して移動が  
できます。ゆるやかな斜面のゲレンデで転  
倒後の起き方、スキー板の運び方から指導  
し、ボーゲンの指導もします。

初級ではリフトに乗りボーゲンにて初級  
コースを周回、団体行動における安全な止  
まり方や大回りの習得をします。リフトに  
乗るのが怖い子どもはスタッフと同乗しま  
す。難しいコースにはいきません。  
中級では高速リフトに乗り「ブルースク  
ウェア」という中級者向けのコースを周回し  
ます。初級より急な斜面にてコース周回を  
繰り返し、止まり方、ターンの指導を行  
います。

上級クラスでは高速リフトで「ブルース  
クウェア」や最上級難易度の「ブラック  
ダイヤモンド」にも挑戦します。パラレルタ  
ーンなどの高度なテクニック指導をメイン  
に行います。急な斜面が不安といった子  
どももいる時には中級グループと合同に指導  
を行うこともあります。



### 【日帰り&宿泊スキーキャンプ日程】

日帰りスキー教室  
2020年1月5日  
2020年1月12日  
2020年1月26日  
2020年2月9日  
参加対象: 小学1年生から中学3年生  
定員: 各回30名  
※級により募集人数制限あり  
宿泊スキーキャンプ  
2019年12月26~29日: 定員40名  
2020年2月17~20日: 定員20名  
参加対象: 小学3年生から中学3年生

★ 初心者からでも安心してご参加いた  
できます。お友達と冬の思い出をつくり  
ましょう。  
★ 申し込み状況等はホームページからも  
ご確認いただけます。  
★ お問い合わせ先  
メール: [Ski.nyikuei@gmail.com](mailto:Ski.nyikuei@gmail.com)  
電 話: 201-947-4832 (NJ校)

NJキャンパスアフタースクール・クラブディレクター: 加藤 義隆